

# 2019年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

私たちは、世界一お客様に愛され、  
選んでいただける不動産会社を目指しています

1)2019年3月期 第1四半期 決算実績の概要	1～10
2)事業環境	11～13
3)不動産再生事業(リプランニング)の実績	14～16
4)リプランニング事業の基盤を支える成長資産	17～31
5)新規開業ホテルのご紹介	32～34
6)ご参考資料	35～38

2018年8月8日



**SUN FRONTIER**

証券コード:8934

## 2019年3月期 第1四半期 決算実績

### 第1四半期業績は売上高、利益ともに過去最高を更新

	実績	利益率	前年同期比	伸び率	通期業績予想	進捗率
売上高	18,211百万円	—	+9,302百万円	+104.4%	58,000百万円	31.4%
営業利益	4,839百万円	26.6%	+2,738百万円	+130.4%	12,300百万円	39.3%
経常利益	4,747百万円	26.1%	+2,731百万円	+135.5%	11,800百万円	40.2%
純利益※	3,258百万円	17.9%	+1,890百万円	+138.1%	8,200百万円	39.7%

(※)「純利益」は親会社株主に帰属する四半期純利益を示しております。

## 業績ハイライト

### 1)リプランニング事業が業績を牽引

- リプランニング事業案件は中規模ビルを複数販売したことにより、**売上高、利益ともに2倍強に増大**
- 当四半期のリプランニング事業(ホテル開発含む)のセグメント利益率は**30.5%**となり、高水準を維持(2017/3期 27.6%、2018/3期 29.7%)

### 2)仕入も順調に進捗

- 来期販売予定分の仕入を推進中。
- 第1四半期で86億円を仕入完了済、加えて、7月末時点で仕入決済・仕入契約済案件は61億円あり。**
- 当四半期末のリプランニング事業関連の在庫棟数は53棟、棚卸資産残高は451億円(ホテル開発除く)(2017/6月末時点 43棟、364億円)

### 3)オペレーション事業が順調に成長

- 『ホテルスカイコート』がさらに伸長し、ホテル運営事業の業績に貢献
- 5月に『たびのホテル飛騨高山』、7月に『たびのホテル佐渡』が開業し、**運営ホテルは10店舗1,191室に拡大**
- スペースレンタル事業は合計13拠点に拡大。7月には田町の拠点にて増床完了**

# 連結損益計算書



(単位:百万円)

	2018年3月期 4～6月	2019年3月期 4～6月		2018年3月期 4～6月	2019年3月期 4～6月
<b>売上高</b>	<b>8,909</b>	<b>18,211</b>	<b>営業利益</b>	<b>2,100</b>	<b>4,839</b>
不動産再生事業	7,308	16,394	営業外収益	3	19
リプランニング(含ホテル開発)	6,780	15,636	営業外費用	88	111
賃貸ビル(含サブリース)	527	757	<b>経常利益</b>	<b>2,016</b>	<b>4,747</b>
不動産サービス事業	848	788	特別損益	-	-
オペレーション事業	657	903	法人税等	652	1,489
その他事業	225	303	非支配株主損益	▲4	▲0
調整額	▲131	▲177	<b>純利益</b>	<b>1,368</b>	<b>3,258</b>
<b>売上総利益</b>	<b>3,200</b>	<b>6,221</b>			
不動産再生事業	2,430	5,424			
リプランニング(含ホテル開発)	2,202	5,047			
賃貸ビル(含サブリース)	227	376			
不動産サービス事業	556	463			
オペレーション事業	115	144			
その他事業	171	199			
調整額	▲73	▲7			
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>1,099</b>	<b>1,382</b>			

- RP事業は売上高・売上総利益ともに2.3倍に伸長
- 売上総利益率は32.3%となり、昨年通期の利益率31.9%を上回る水準

- スtockビジネスの賃貸ビル事業、オペレーション事業が順調に拡大
- 両事業を合わせた売上高は前年同期比で1.4倍、売上総利益は1.5倍に伸長

# 連結貸借対照表 -資産-



(単位:百万円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 6月末	増減額 (2018年3月末比)
<b>流動資産</b>	<b>55,195</b>	<b>80,174</b>	<b>79,632</b>	<b>▲541</b>
現金及び預金	16,246	23,892	22,854	▲1,038
棚卸資産	36,186	54,593	55,439	+846
内訳) RP	26,039	45,525	45,149	▲375
ホテル	7,254	5,291	6,747	+1,455
海外等	2,892	3,775	3,542	▲234
その他流動資産	2,762	1,687	1,337	▲350
<b>固定資産</b>	<b>8,458</b>	<b>11,587</b>	<b>11,864</b>	<b>+277</b>
有形固定資産	7,288	8,565	8,942	+376
無形固定資産	562	474	450	▲24
投資その他の資産	608	2,546	2,471	▲75
<b>資産合計</b>	<b>63,654</b>	<b>91,761</b>	<b>91,496</b>	<b>▲264</b>

RP事業案件は第1四半期中規模ビルを複数販売したものの、仕入が進捗したことで残高は3億円減に留まる。  
一方、ホテル事業案件は1件の取得を行い、残高は14億円増。

# 連結貸借対照表 -負債・純資産-



(単位:百万円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 6月末	増減額 (2018年3月末比)
<b>流動負債</b>	<b>8,281</b>	<b>10,155</b>	<b>8,975</b>	<b>▲1,180</b>
短期借入金等	3,438	2,716	2,657	▲58
未払法人税等	802	3,178	1,400	▲1,778
その他流動負債	4,040	4,260	4,916	+656
<b>固定負債</b>	<b>19,686</b>	<b>32,756</b>	<b>32,300</b>	<b>▲456</b>
長期借入金・社債	18,626	30,865	30,342	▲522
その他固定負債	1,059	1,890	1,957	+66
<b>負債合計</b>	<b>27,968</b>	<b>42,912</b>	<b>41,275</b>	<b>▲1,636</b>
株主資本	35,528	48,750	50,375	+1,625
その他	157	99	▲154	▲253
<b>純資産合計</b>	<b>35,686</b>	<b>48,849</b>	<b>50,221</b>	<b>+1,371</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>63,654</b>	<b>91,761</b>	<b>91,496</b>	<b>▲264</b>

## 自己資本比率の推移

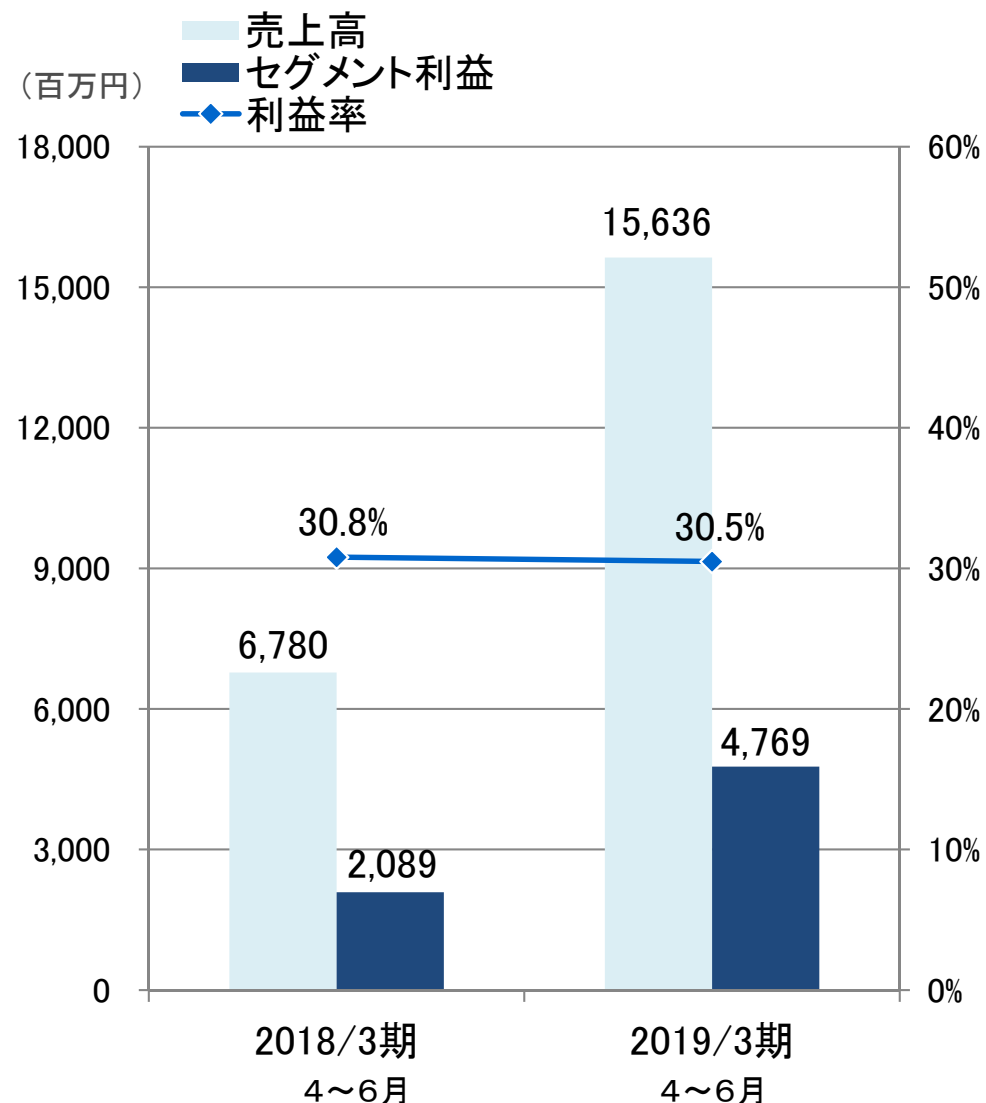
2017年3月末	2018年3月末	2018年6月末
56.0%	53.2%	<b>54.9%</b>

RP事業案件の販売が進捗したことで借入金が前期末から5億円減少、6月末の有利子負債残高は330億円

四半期純利益(+32億円)と期末配当金支払い(▲16億円)の差額として利益剰余金が16億円増加

## リプランニング事業 (リプランニング・ホテル開発)

(単位:百万円)	2018/3期 4~6月	2019/3期 4~6月	増減
売上高	6,780	15,636	+130.6%
セグメント利益 <sup>(注1)</sup>	2,089	4,769	+128.2%
利益率	30.8%	30.5%	▲0.3%pt
仕入物件数	16件	13件	▲3件
販売物件数	6件	8件	+2件
期末在庫数	49件 <sup>(注2)</sup>	58件 <sup>(注2)</sup>	+9件



- 売上高、利益ともに大幅に増加
- 商品化の創意工夫を積み重ねるとともに、当社顧客への直接販売が増加したことなどから、**利益率は30%を超える高い水準を継続**
- 平均事業期間は351日
- **仕入が進捗し、期末在庫は58件 518億円**  
 (内訳) RP事業関連 53件 451億円  
 ホテル事業関連 5件 67億円

※海外事業関連は除く

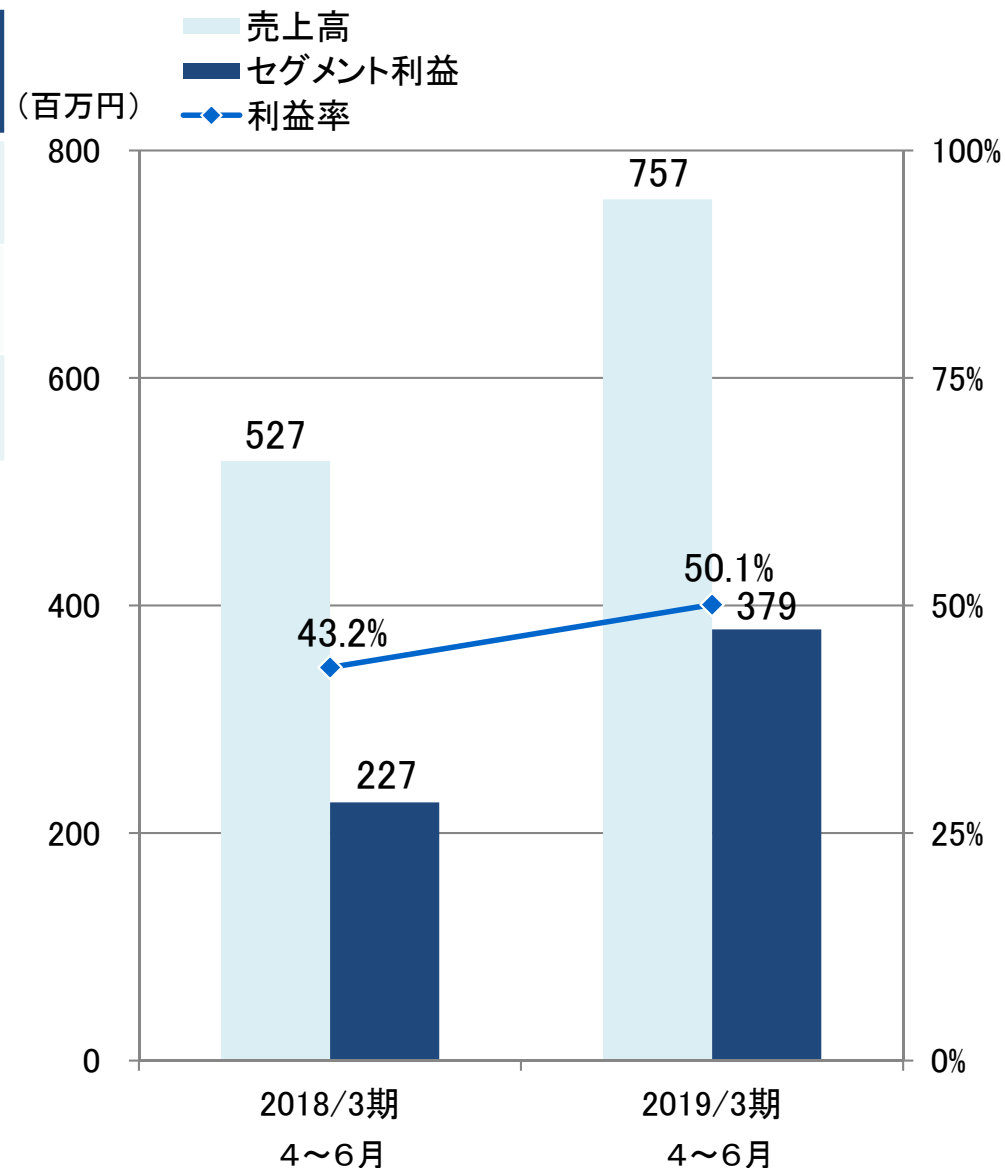
※上記以外に7月末までの仕入決済・契約済案件は**RP物件9件、61億円あり**

(注1)「セグメント利益」は、売上総利益から支払利息、販売手数料、のれん償却等、各事業で発生する固有の費用を差し引いて算出

(注2)土地仕入開発案件もRP在庫に含む

## 賃貸ビル事業 (賃貸ビル・サブリース)

(単位:百万円)	2018/3期 4~6月	2019/3期 4~6月	増減
売上高	527	757	+43.5%
セグメント利益	227	379	+66.6%
利益率	43.2%	50.1%	+7.0%pt

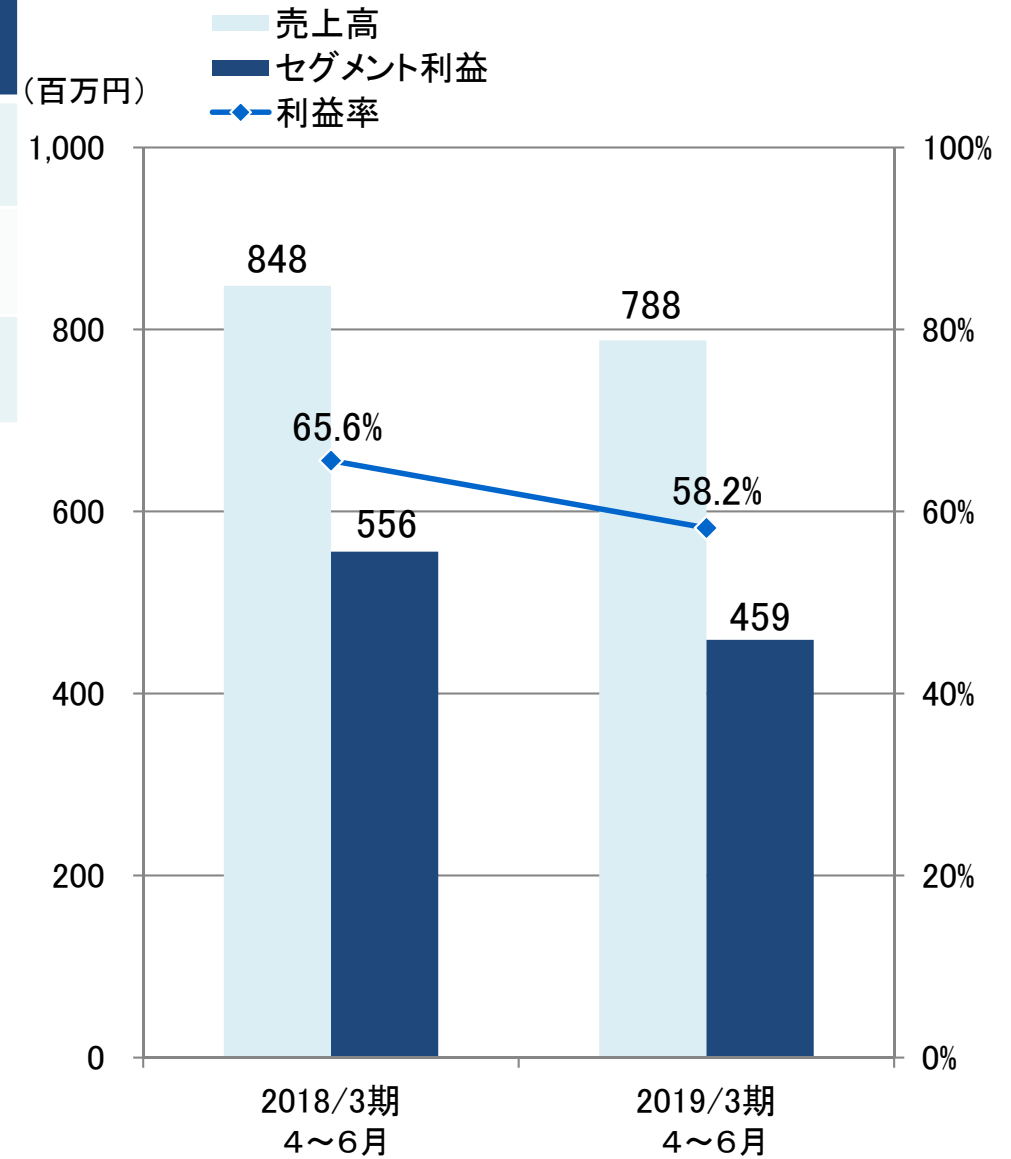


- リプランニング事業において、高水準の利益率に拘ること  
で販売件数を最小限に抑え、商品化が完了したリプラン  
ニング事業案件を戦略的に積み上げてきたことで、賃料  
収入が伸長し、売上高、利益ともに増加
- ホテル事業案件からの賃料収入も売上高、利益の増加  
に寄与

# 不動産サービス事業 (プロパティマネジメント・ビルメンテナンス ・売買仲介・賃貸仲介)



(単位:百万円)	2018/3期 4~6月	2019/3期 4~6月	増減
売上高	848	788	▲7.1%
セグメント利益	556	459	▲17.5%
利益率	65.6%	58.2%	▲7.3%pt



## <PM事業・BM事業>

■ **きめ細かなテナント対応やお困りごと解決**に加え、適正賃料への条件改定による収益改善等に取り組むことで付加価値の高いサービスを提供。その結果、グループ全体のお客様基盤と事業基盤を伸ばすことに貢献

## 【PM受託棟数と稼働率の推移】

	受託棟数	稼働率
2016年6月末	345棟	95.3%
2017年6月末	369棟	95.9%
2018年6月末	381棟	95.9%

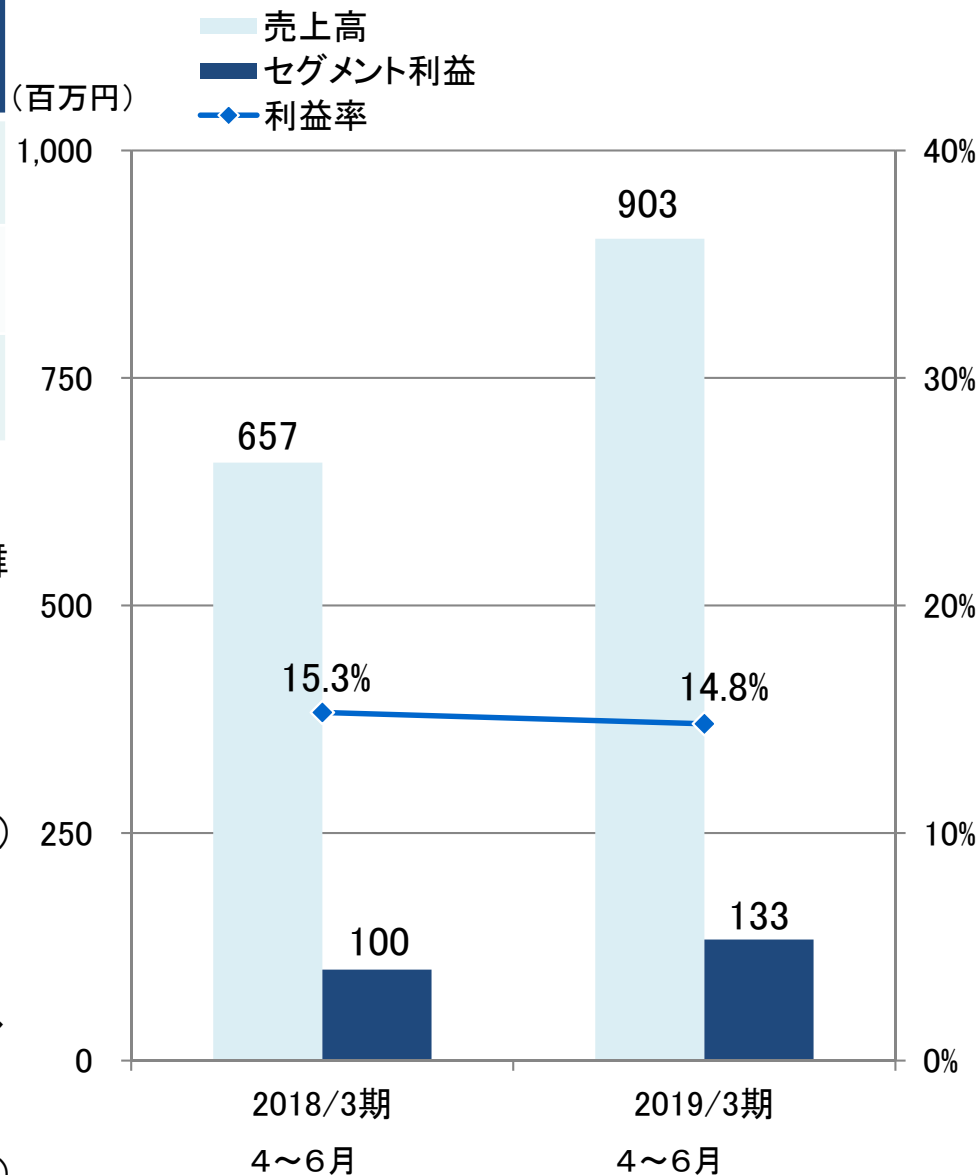
## <売買仲介・賃貸仲介>

■ 売買仲介は売上高、利益ともに減少となったものの、仲介部門がRP物件の仕入・商品化・販売プロセスにおいて**お客様視点に立った高い付加価値創出の原動力**となつて、グループ全体の収益に貢献



# オペレーション事業 (ホテル運営・スペースレンタル)

(単位:百万円)	2018/3期 4~6月	2019/3期 4~6月	増減
売上高	657	903	+37.4%
セグメント利益	100	133	+32.7%
利益率	15.3%	14.8%	▲0.5%pt



## <ホテル運営事業>

- 『ホテルスカイコート』の業績がさらに伸長、『日和ホテル舞浜』『スプリングサニーホテル』の稼働率、客室単価も堅調に推移したことで**売上高、利益ともに増加**
- 『たびのホテル』が5月に飛騨高山、7月に佐渡島で開業。  
2018年7月末時点で**運営ホテルは10店舗に拡大**  
(2019/3期4~6月 売上高683百万円、セグメント利益55百万円)

## <スペースレンタル(貸会議室)事業>

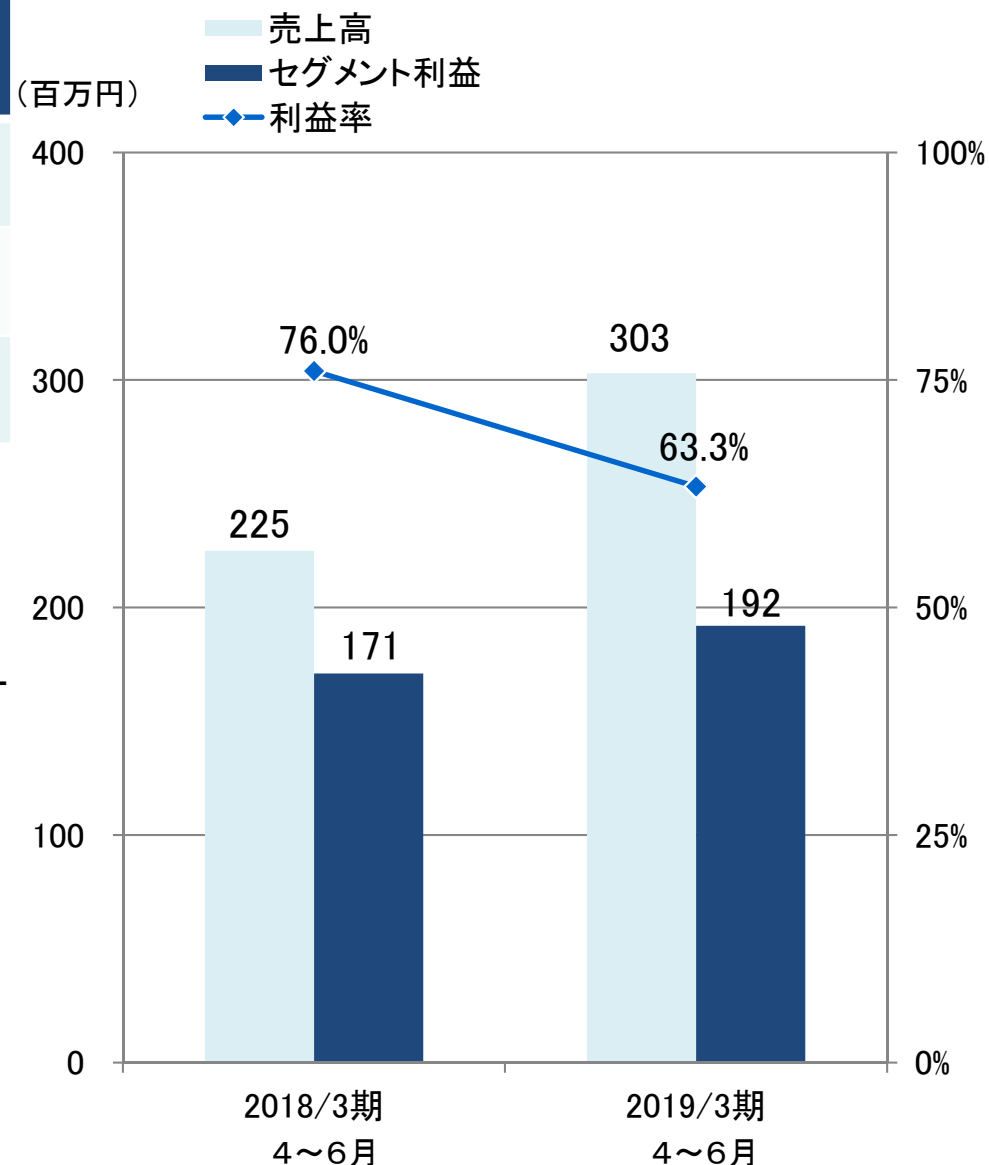
- 2018年7月末時点で**合計13拠点に拡大**(貸会議室8拠点、レンタルオフィス3拠点、コワーキングスペース2拠点)。
- 7月23日に『ビジョンセンター田町』の増床完了。  
(2019/3期4~6月 売上高219百万円、セグメント利益77百万円)

# 事業別業績

## その他（滞納賃料保証・海外事業・建設ソリューション等）



(単位:百万円)	2018/3期 4~6月	2019/3期 4~6月	増減
売上高	225	303	+34.5%
セグメント利益	171	192	+12.0%
利益率	76.0%	63.3%	▲12.7%pt



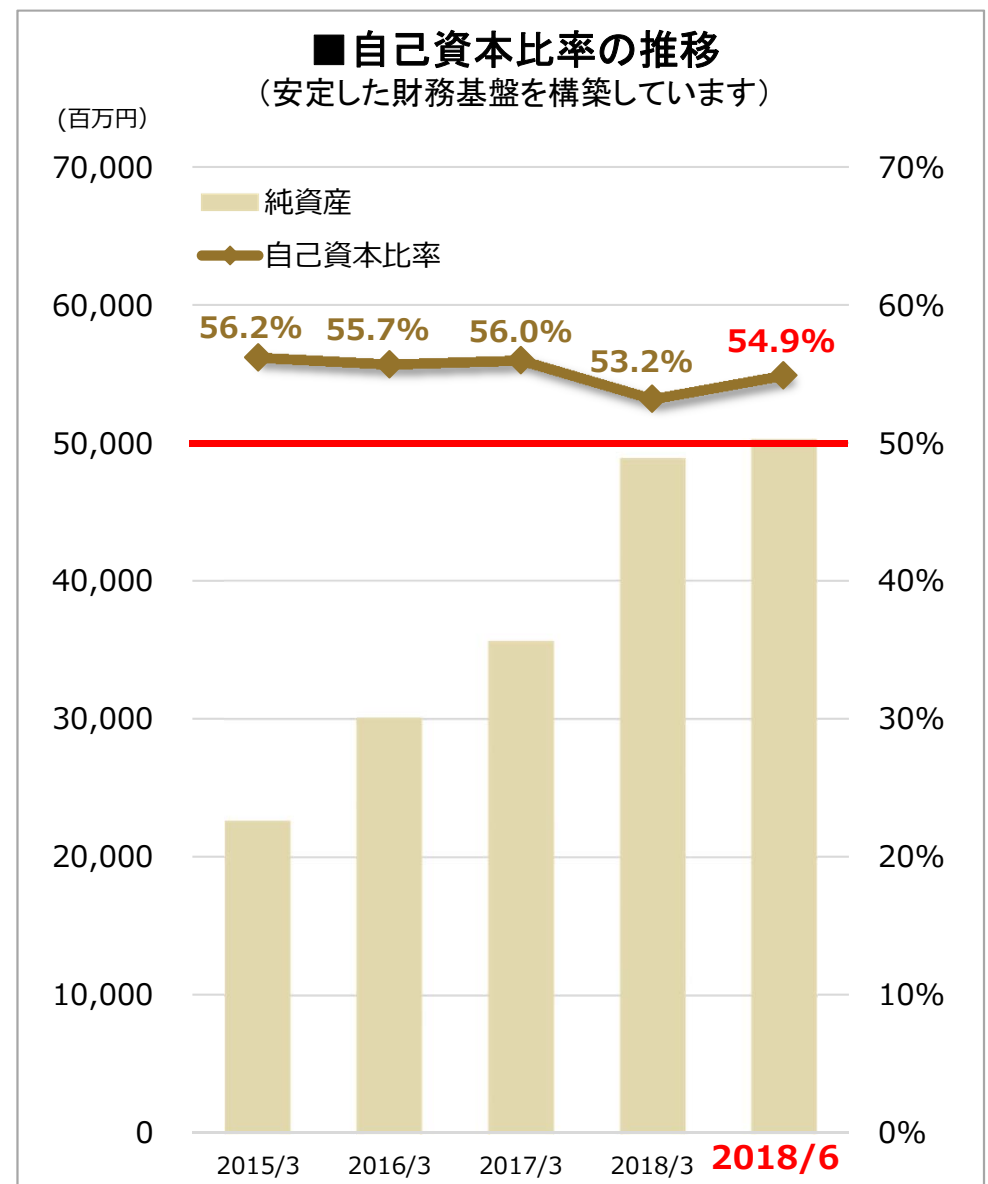
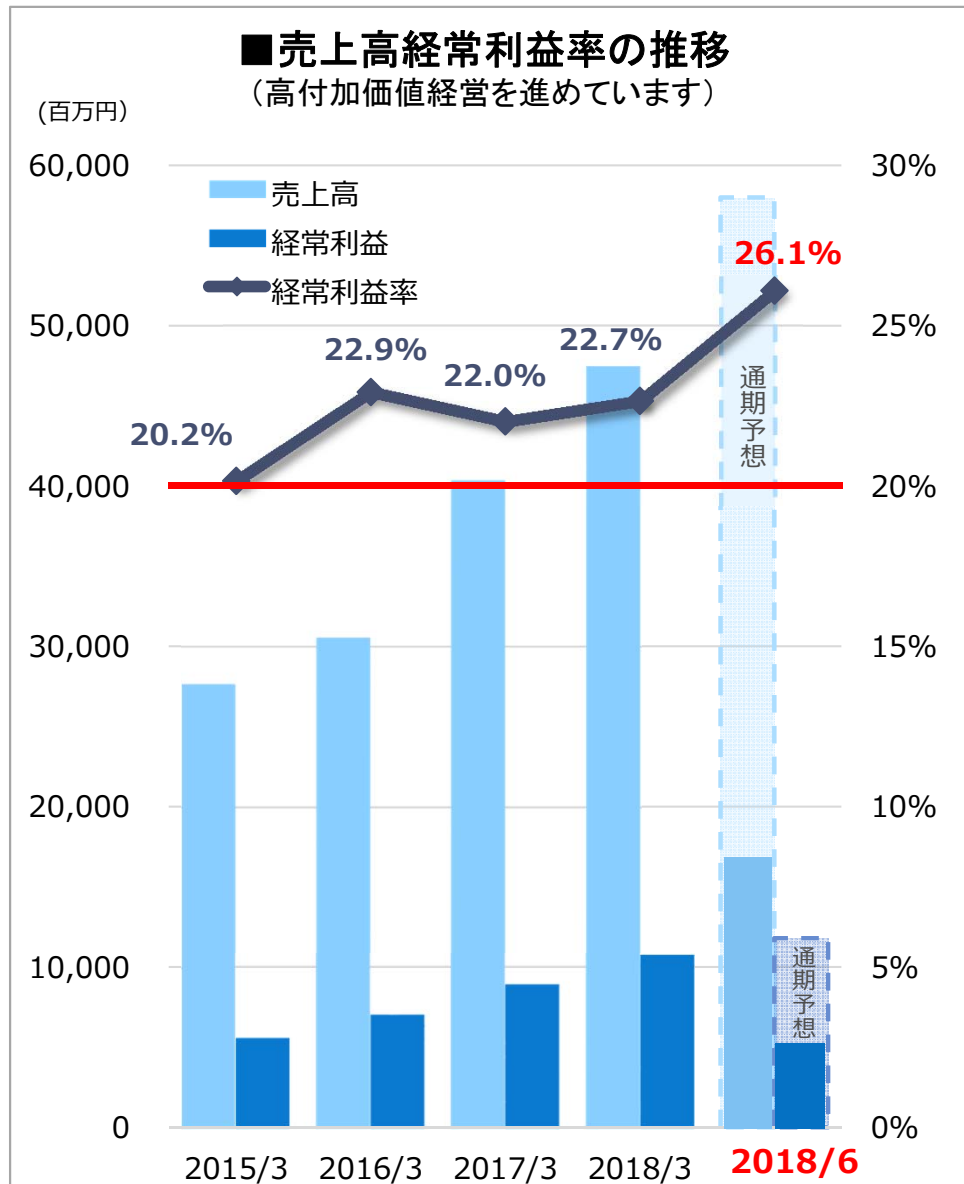
### <滞納賃料保証事業>

- ビルオーナー様、協力会社様への保証システムの認知度向上に努めたことで、**新規保証、再保証**ともに取り扱い件数が**堅調に推移**し、売上高、利益ともに増加
- 民法制定(1896年)以来の債権関係規定の大改正(2020年施行)に伴い、保証需要の高まりが見込まれることから、ビルオーナー様向けのセミナー等を強化中

### <海外事業>

- 成長が続く東南アジアへの展開を加速
  - ① ベトナムの中部最大都市ダナン
    - ・海外第1号ホテル『The Blossom City』を所有、運営
    - ・28階建(306戸)の分譲マンション『HIYORI Garden Tower』が昨年6月に着工し、建設中
  - ② インドネシアの首都ジャカルタ
    - ・都市型分譲住宅の建築を推進
    - ・サービスアパートメント「京 Serviced Apartment」を所有、賃貸

# 重視する経営指標の推移



## 2) 事業環境

1. 世界経済は、足元では回復基調。2018年は3.9%（前年比+0.1%）の成長が見込まれている。

◆IMFによると2017年は世界的に広く経済成長が加速、2018年も同程度の成長が見込まれている。

◆6月に米国が利上げを行い、今後のペース加速も見込まれることから動向に留意する必要がある。

◆世界的な保護主義の台頭、米国と中国の貿易摩擦激化により経済成長が鈍化するリスクに留意。

2. 日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかに回復していくことが見込まれる。

◆日本経済の実質成長率は引き続き成長基調で推移。設備投資や外需の好調が下支えしている。

◆2018年4月から6月の訪日外国人旅行消費額は1兆1,233億円と同期としては過去最高を更新。

◆海外経済の不確実性や金融資本市場の変動、原油相場の高止まり傾向に留意する必要がある。

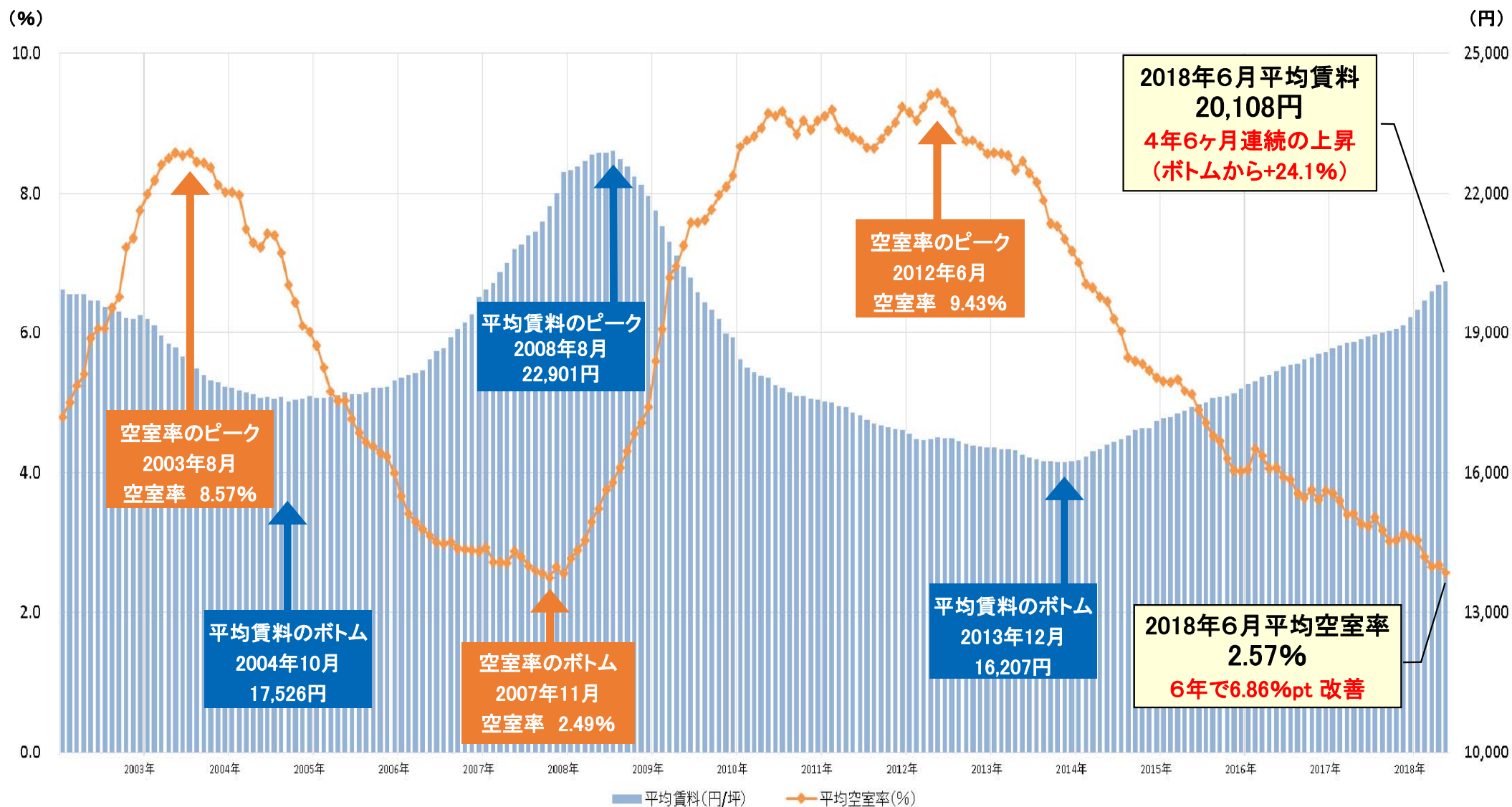
3. 都心オフィスビル市場は、好調な企業業績による底堅い需要から、引き続き活況を呈している。

◆平均賃料は小幅な上昇基調、空室率は低水準で推移。引き続き底堅い需要を伺える状況にある。

◆空室率が前回のボトムに近づきつつあるが、需給バランスは引き続き良好な状態が続くと見られている。

◆J-REITは毎月分配型投信の資金が流出超過の状態にあるが、各社の業績は総じて堅調な状態。

# 都心5区 オフィス賃料・空室率の推移



※出所: 三鬼商事「オフィスレポート」を基に当社作成。都心5区の基準階100坪以上のオフィスビルが対象。

# 3) 不動産再生事業の実績 (リプランニング)

# 都心・中小型オフィスに特化した再生事業の実績



都心中小型オフィス  
再生実績

**No.1**

再生件数

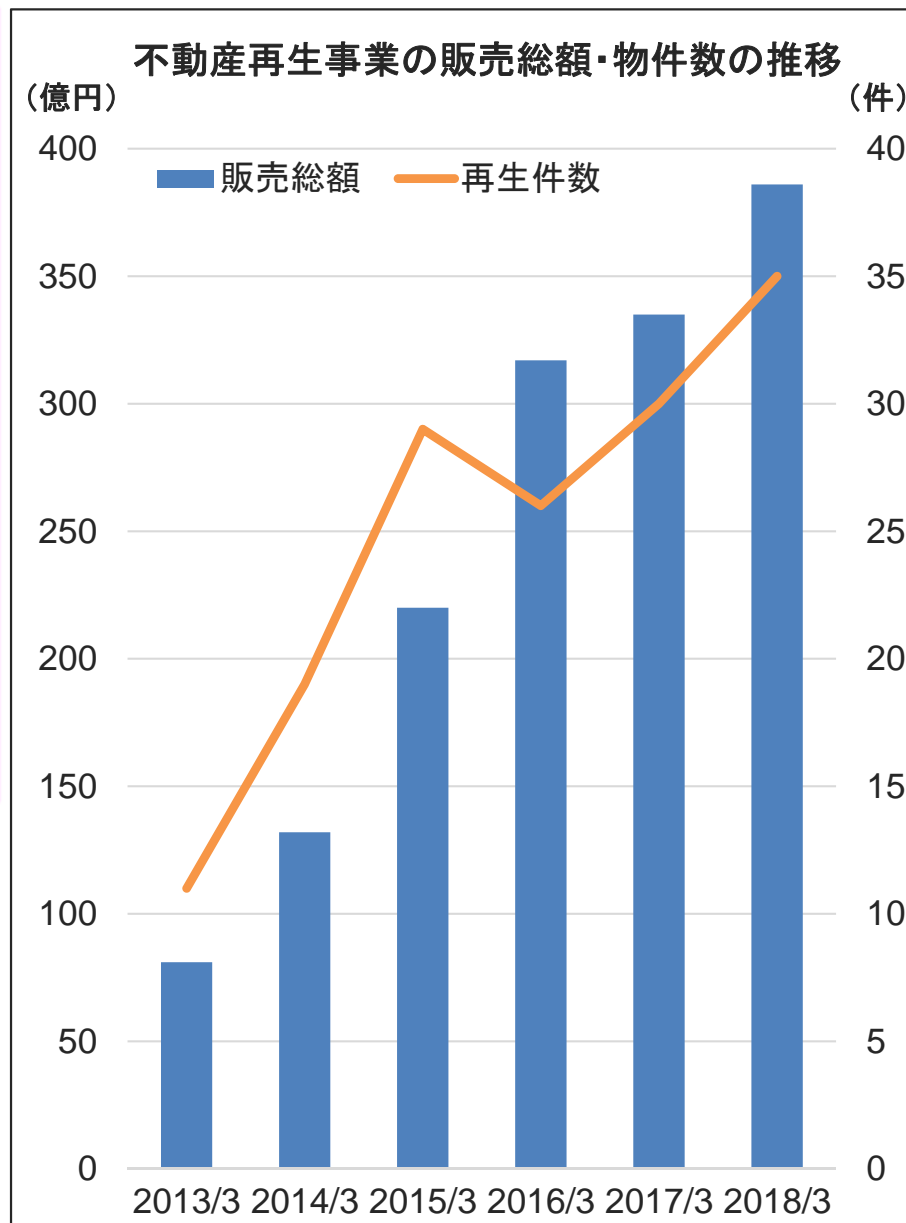
**334件**

販売総額

**3,204億円**

(当社調べ)

18年間に亘り  
不動産再生事業を展開

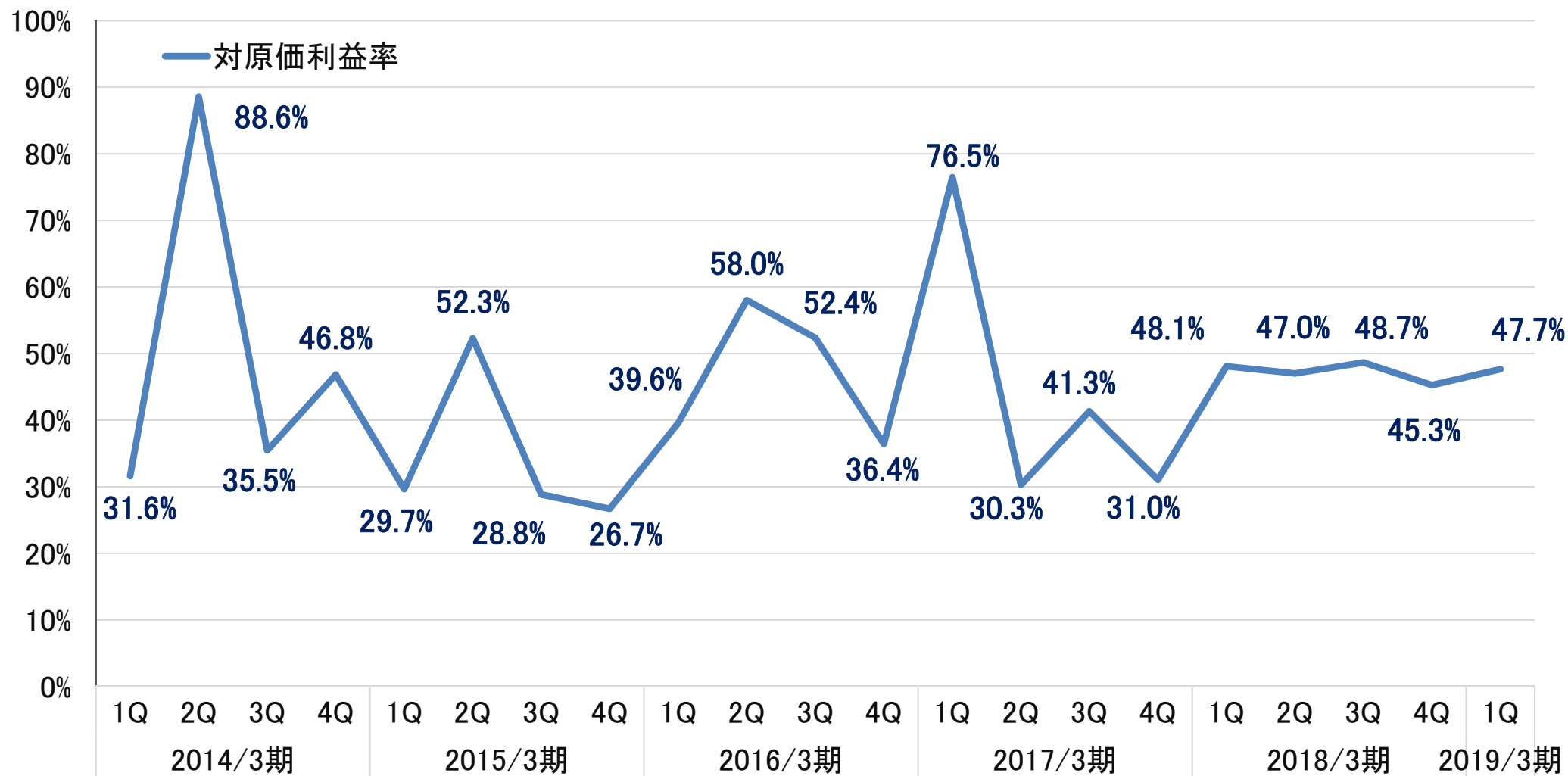




# 不動産再生事業の利益率



不動産再生事業の利益率の推移



※対原価利益率・・・(売上粗利)÷(売上原価)で計算され、リプランニング事業の原価に対する利益率の高さを示す

※不動産再生事業には「リプランニング事業」のほかに「不動産証券化事業」「ホテル開発事業」を含む

# 4) リプランニング事業の基盤を支える 成長資産

# 再生事業と連鎖し、強みを発揮する四要素



## 賃貸仲介

## ビル管理

## 滞納賃料保証

営業拠点数

**10**拠点

営業人員

**81**名

受託棟数

**381**棟

管理人員

**105**名

保証契約件数(累計)

**3,925**件

明渡訴訟率※

**2.6%**

## 建築企画

ビルの機能を「維持」する工事

**購入後も安心・安全・手間要らず**

ビルの価値を「高める」工事

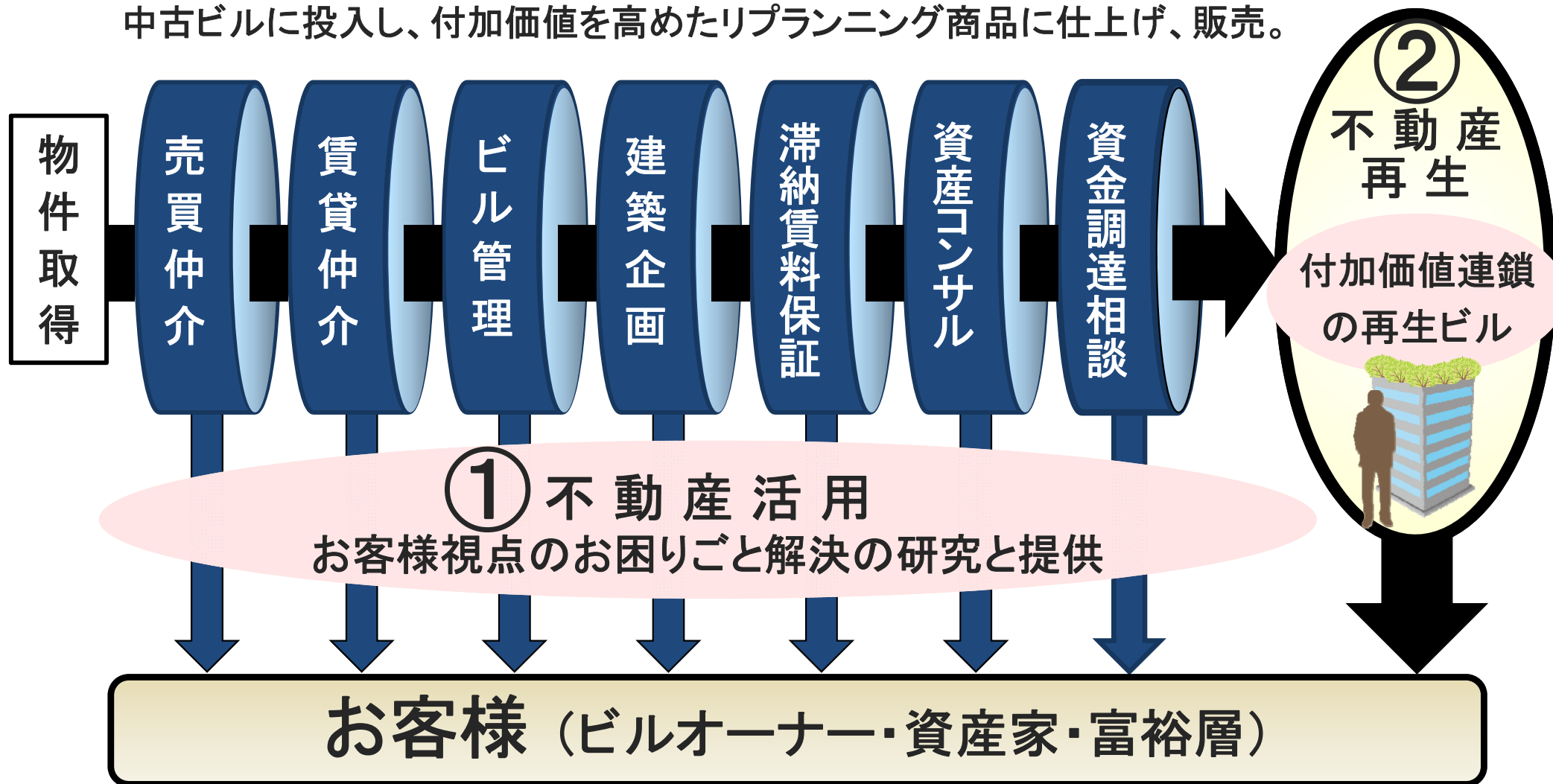
**社会の変化を読むデザイン企画**

※…明渡訴訟率: (明渡訴訟件数) ÷ (保証契約件数)

# 各事業を連鎖複合させ、再生に活かすビジネス構造



- ① 縦の不動産活用事業で、お客様の声からお困りごとを現場で研究・解決する。
- ② 横の不動産再生事業で、そのノウハウや掴んだニーズを連鎖複合させ、自社で取得した中古ビルに投入し、付加価値を高めたリプランニング商品に仕上げ、販売。



# 地域密着、土地勘を活かしたテナント斡旋力



## 1. 東京都心の中小型オフィスビルに特化

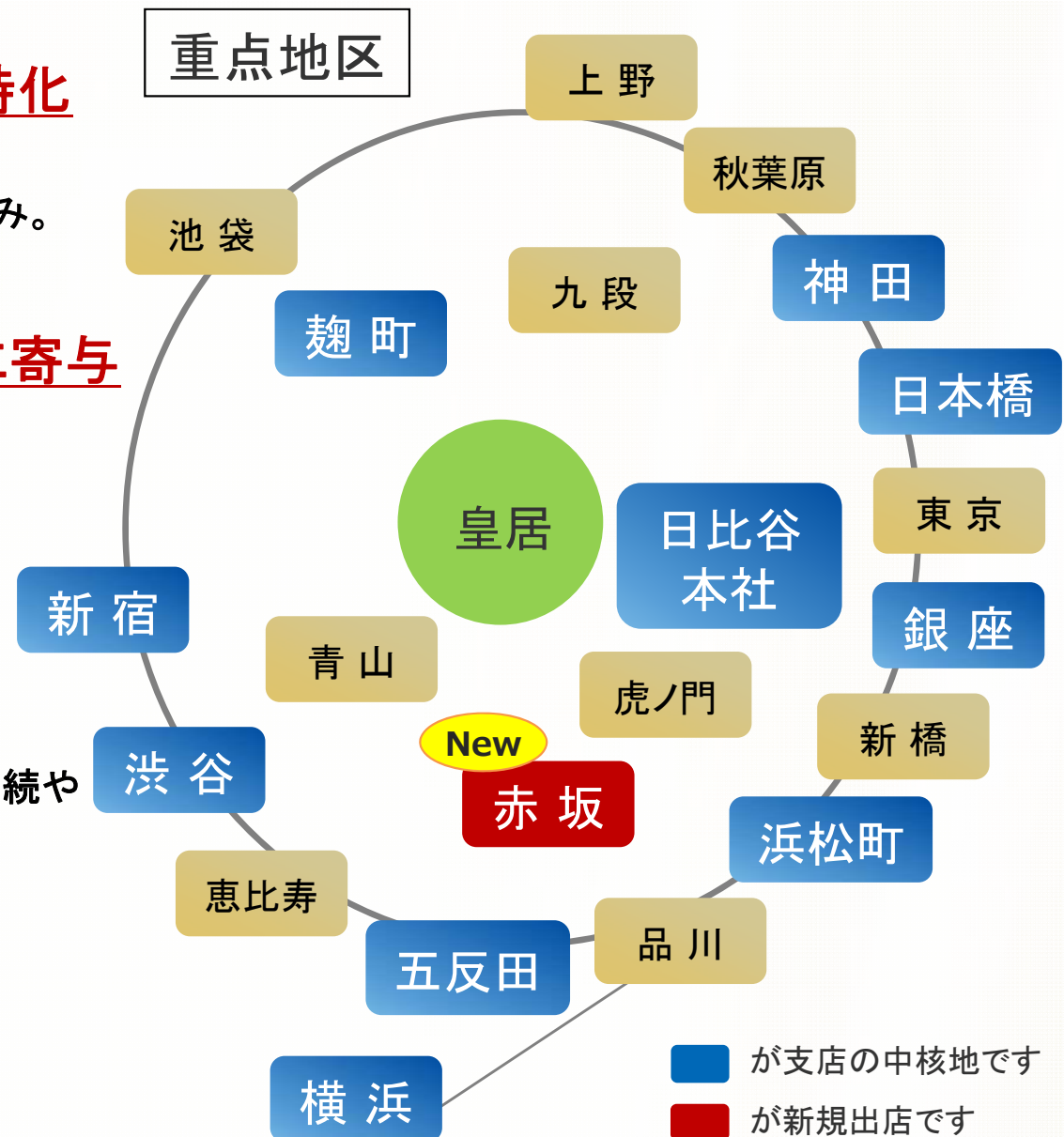
東京都心を中心に10拠点を展開。  
地域に密着し、土地勘を活かしたテナント斡旋に強み。

## 2. 再生事業の高付加価値の商品化に寄与

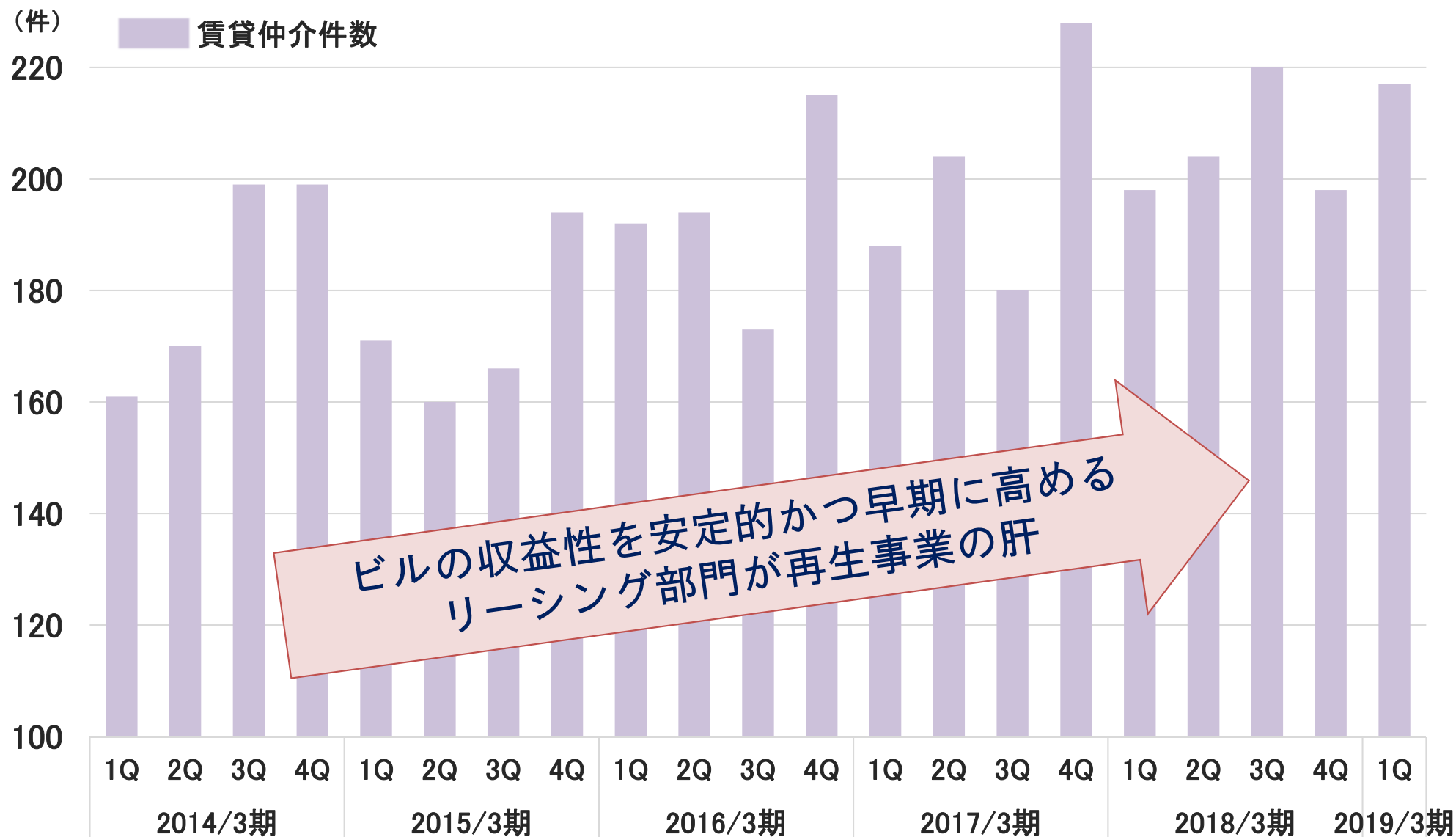
都心5区に特化したテナント斡旋力を活かし、  
再生ビルの商品化に寄与。テナントニーズを掴み、  
社会の変化を掴んだ商品作りにも貢献

## 3. 不動産再生事業の仕入窓口

オーナー様視点のお困りごと解決の窓口として、相続や  
建物の老朽化、ビル経営に疲れた場合などに、  
ビルの直接購入に至るケースが起きてまいります。

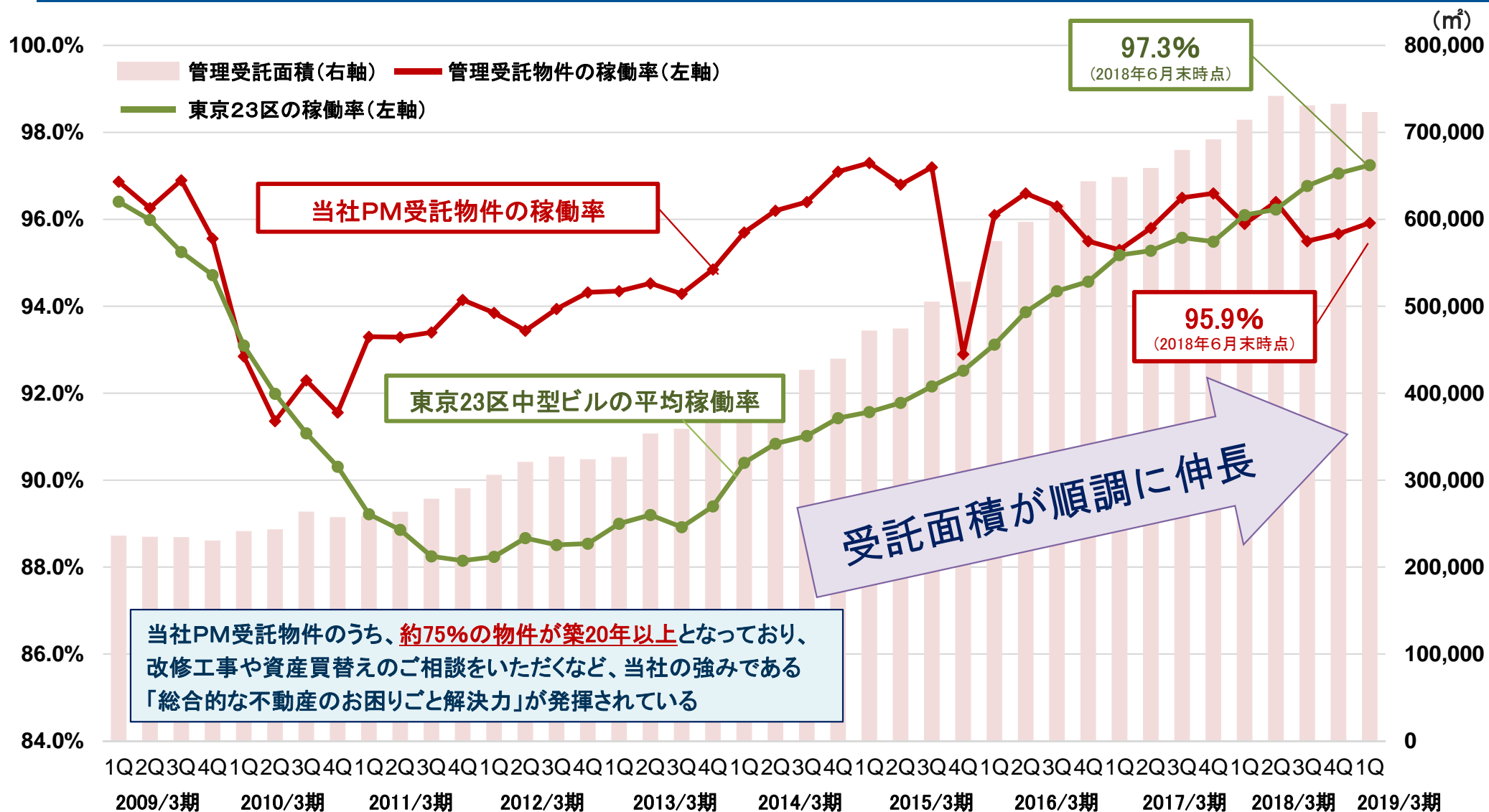


# 賃貸仲介件数の推移



※リプランニング物件等の自社賃貸仲介件数を含む

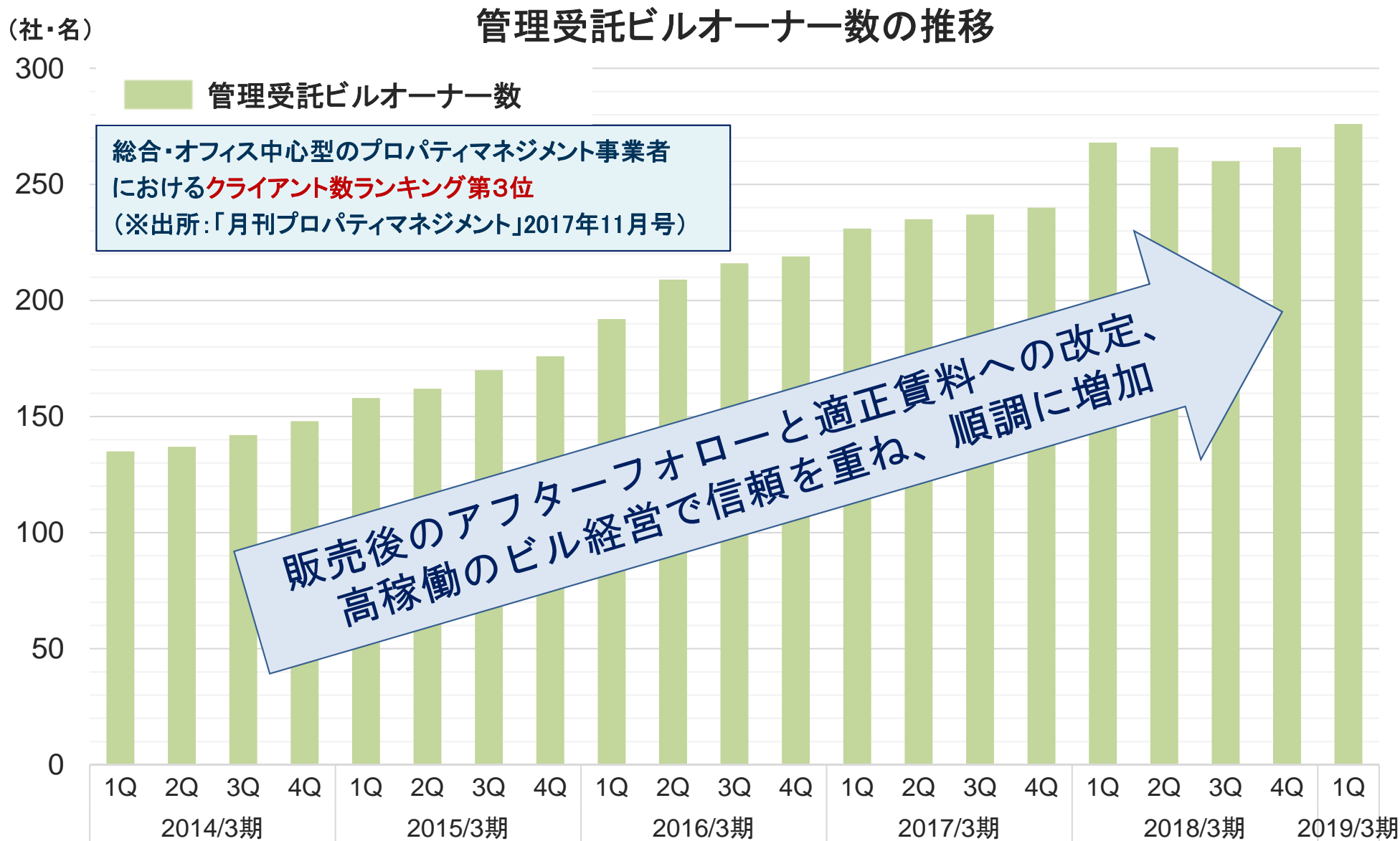
# 管理受託面積と稼働率



※出所: 東京23区中型ビルの平均稼働率は三幸エステートの「オフィスマーケット調査月報」を基に当社作成

※稼働率: (総稼働面積)/(総貸出可能面積)。稼働率及び受託面積には当社RP物件を含む

# ビルオーナー数の増加

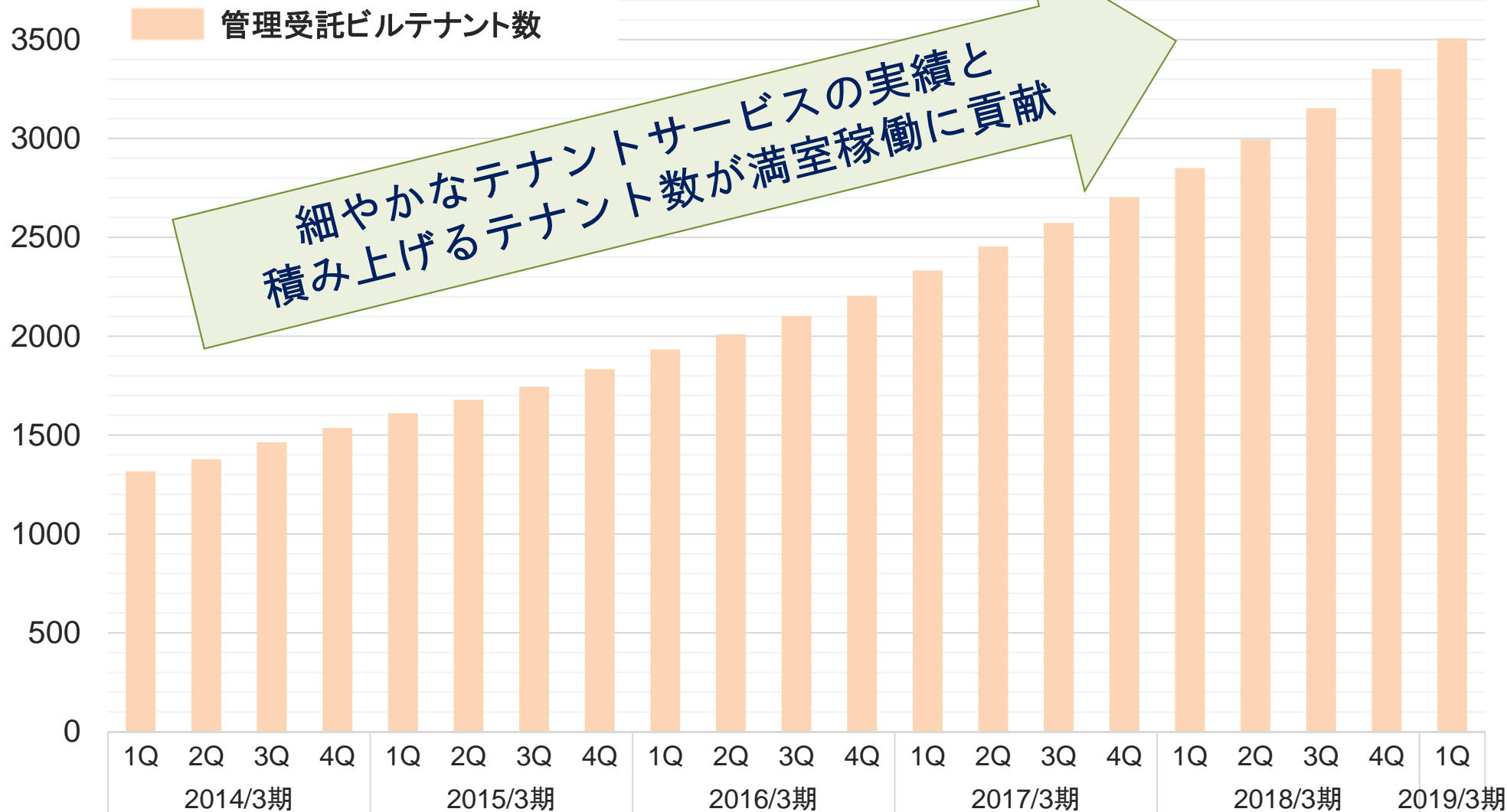




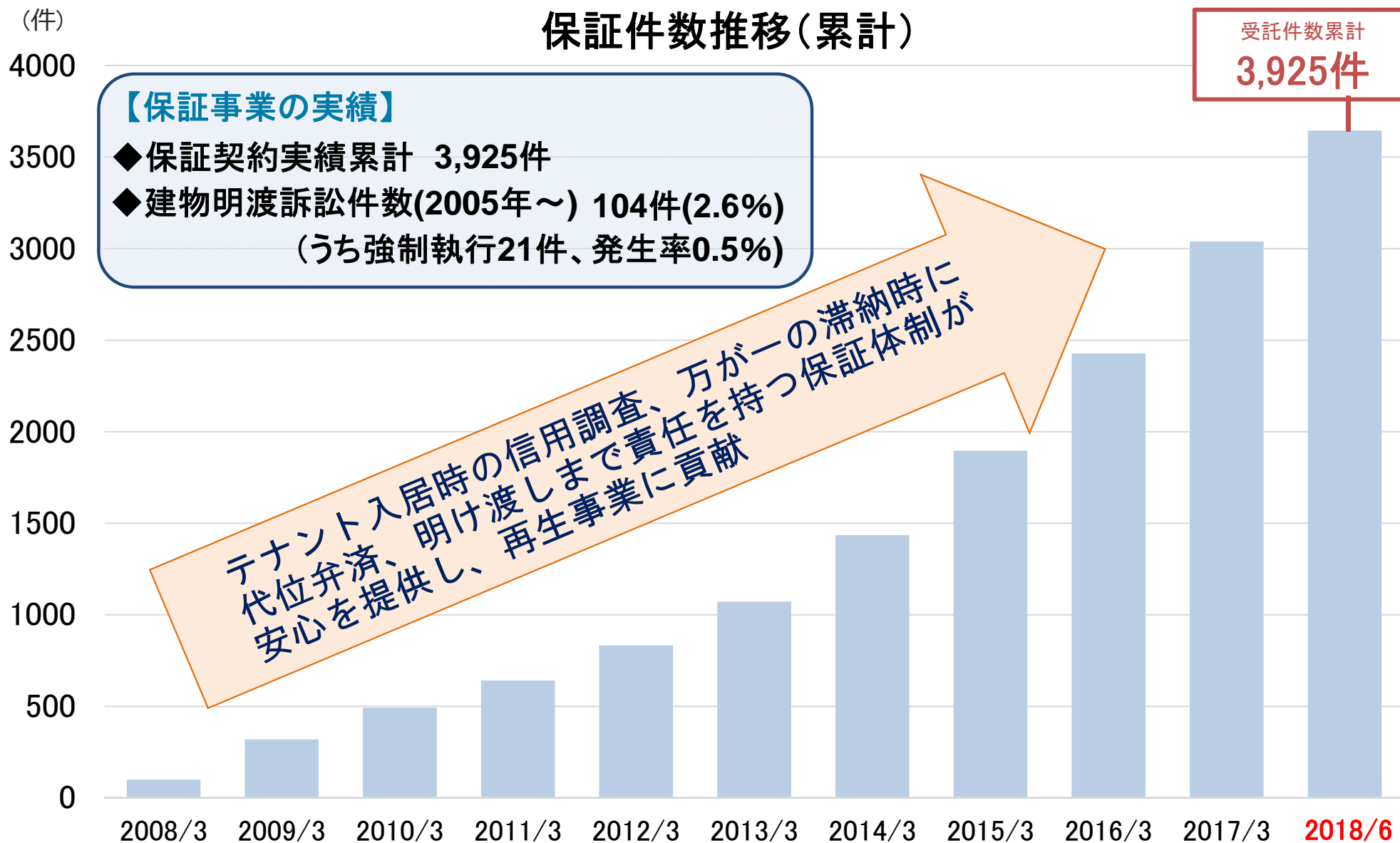
# テナント数の増加

## 管理受託ビルのテナント数の推移

(社・名)



# 滞納保証件数



# ビルの価値を引き出す力

## 【サンフロの工事】

### 1. 価値(機能)を「維持」する修繕工事

→①外壁修繕(漏水対応、美装)、②空調機、③EV更新工事、など

ご購入後5~10年間、大規模工事が不要となる修繕を実施。

販売・引渡し後3ヶ月以内の不具合は「アフターサービス」として当社費用で修繕を実施。

### 2. 価値(機能性・快適性)を「高める」リニューアル工事

→トイレ、EVラウンジ、執務室の天井高アップ、屋上ガーデンテラス、エントランス等のフルリニューアル。コストが掛かり、他社が積極的に取り組まない領域の工事を実施。

⇒テナント様から選ばれる差別化要因となり、市場競争に巻き込まれず、安定的に、早く、相場より高い賃料で決まる。



# 社会の変化を察知するテナント視点の企画力 SUN FRONTIER

## 【セットアップオフィス】

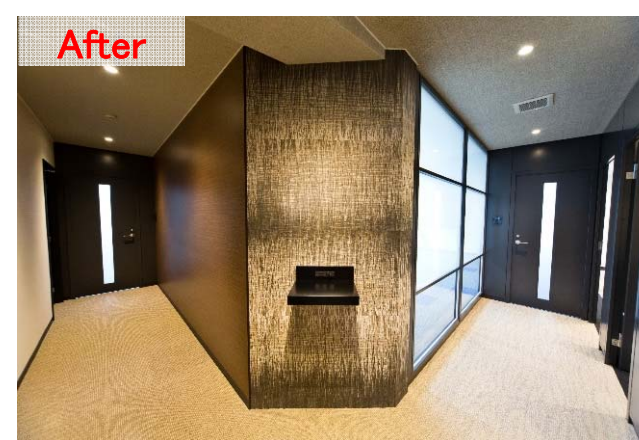
地域に密着し、テナントニーズの研究に余念が無く、社会の変化を先取りする当社。  
テナント視点の内装を作りこむことで、そのセンス・利便性が決定要因に。  
自ら変化し、好不況に左右されず長期に高収益・高稼働を実現



デザイン性・機能性を追求し、受付や  
ガラスパーテーションの会議室を設置



天井高5mを超える、開放感のある  
オフィス空間を創出



「和」をイメージし、天井にまで気を配ること  
で高級感と上品さを感じさせるデザインに

### セットアップオフィスが生む4つの価値

- ①デザイン性、機能性、高級感を兼ね備えたデザイン
- ②入居コストを抑えられる手軽さ
- ③内装手配等の煩雑さが無い
- ④従業員のモチベーション・生産性向上

# 目に見えない成長資産がベース

販売利益が大きい不動産再生事業。

ベースは「**目に見えない**(B/Sには出てこない)**成長資産の蓄積**」

## <目に見えない成長資産>

- ① 地域密着のテナント斡旋力
- ② 実績が示す高い入居率による安心感
- ③ お客様基盤 (テナント数・ビルオーナー数)
- ④ ビル経営における問題解決力
- ⑤ 安定と安心を提供する滞納賃料保証
- ⑥ テナント視点の企画力
- ⑦ ビル特性を引き出す蓄積されたノウハウ

カスタマーサービスが再生事業の基盤を支える。

当社独自で積み上げる「目に見えない成長資産」が、再生事業の付加価値を複合的に高める。

# 青山通り面の広い間口を最大限に活かした再生



外観 After



1階室内 After



屋上 After

立地を活かし1階をショールーム、地下1階をオフィスに

屋上に都市と緑を望むルーフガーデンを設置



物件



地下1階 After

最高7m超の天井高。自然光が注ぐ開放的な空間へ



エントランス After

安らぎと信頼感をもたらす気品ある空間に改修

## 【物件概要】

- 所 在 : 東京都千代田区平河町
- 構 造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根  
地下1階付8階建
- 竣 工 : 1982年(築36年)

- 用 途 : 事務所
- 敷地面積 : 266.79㎡(80.70坪)
- 延床面積 : 1,915.68㎡(579.49坪)



エントランス Before



# 人と運河を接続する再生で、憩いのビルへ



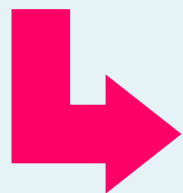
外観 Before



外観 After



耐震補強工事を実施、安心を創造



1階 Before



1階 After



駐車場を飲食店舗に用途変更



ビル裏 Before



ビル裏 After



階段状のベンチを新設し、運河側遊歩道と接続



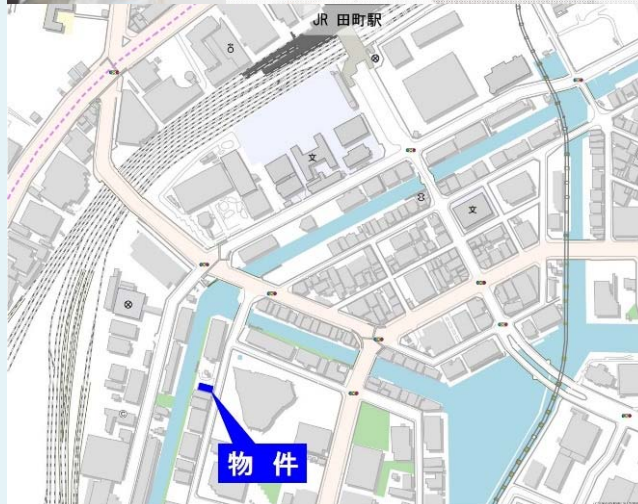
ビル裏 After



地域の人と運河を繋ぎ、憩いの空間を創造

## 【物件概要】

- 所 在 : 東京都港区芝浦
- 構 造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根7階建
- 竣 工 : 1976年(築42年)
- 用 途 : 事務所・共同住宅・店舗
- 敷地面積 : 306.55㎡(92.73坪)
- 延床面積 : 1339.99㎡(405.34坪)



物件

# 社会的意義の高い保育所にコンバージョン



外観 After



室内 Before



室内 After

ひのきをふんだんに使用した 温かな0歳児フロア



地域特性と社会ニーズから、認可保育所を誘致・コンバージョン



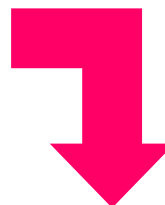
物件



エントランス Before



室内 After



エントランス After

## 【物件概要】

- 竣工：1986年（築31年）
- 所在：東京都中央区日本橋富沢町
- 構造：鉄筋コンクリート造  
地下1階付4階建
- 用途：事務所・車庫・倉庫
- 敷地面積：306.94㎡（92.84坪）
- 延床面積：852.46㎡（257.86坪）



## 5) 新規開業ホテルのご紹介

# 『たびのホテル飛騨高山』グランドオープン



『たびのホテル飛騨高山』は、「日和(ひより)ホテルズ&リゾーツ」のカジュアルブランド「たびのホテル」の第1号店として、2018年5月2日にグランドオープン。

ホテルを拠点に様々な場所へアクティブに観光、周遊をしていただける利便性の高い立地が特長。木のぬくもりに包まれた心温かいホテルを目指し、無料の朝食ビュッフェや天然温泉の大浴場など、ホテルの隅々まで拘り、お客様視点を大切にした仕様



たびのホテルブランド第1号店『たびのホテル飛騨高山』



2018年5月2日  
GRAND OPEN

ホテル外観 ~木のぬくもりに包まれた心温かいホテル~



和風エントランスがお出迎え



ツインルーム



清潔で広々としたバスルーム

現地の食材を使った  
朝食ビュッフェ



古都を思わせる木戸の入り口



露天風呂

# 『たびのホテル佐渡』グランドオープン

『たびのホテル佐渡』は、「たびのホテル」ブランドの第2号店として2018年7月20日にグランドオープン。佐渡中心部に位置し、旅の拠点として気軽にご利用いただける工夫を随所に取り入れることで、「アットホームな心温かいホテル」に。

また地域創生事業の取り組みの一つとして佐渡の観光事業の発展に貢献を目指し運営



## たびのホテルブランド第2号店『たびのホテル佐渡』

2018年7月20日  
GRAND OPEN



竹をイメージし、デザインされた外観



和モダンなエントランス



デラックスダブルルーム



佐渡が育む豊かな食材



畳が気持ちいい！床で寛げる客室



佐渡市街が一望できる中心部に位置



海洋深層水を含有する大浴場

## 6) ご参考資料

# 会社概要



会社名	サンフロンティア不動産株式会社
本店所在地	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
設立年月日	1999年 4月8日
上場年月日	2004年11月19日(ジャスダック証券取引所) 2007年 2月26日(東京証券取引所 第一部)
資本金※	11,965百万円
代表者	代表取締役社長 堀口 智顕
連結従業員数※	正社員 447名(パート・アルバイト含む 811名)
平均年齢※	33.8歳 (※2018年6月末日現在)
事業内容	不動産再生 不動産サービス ( 不動産の管理・仲介・建築企画・滞納保証 賃貸ビルのオペレーション・資産コンサル ) ホテル開発・運営
決算月	3月
上場市場	東証一部(証券コード 8934)



## ビジョン

**「不動産活用のプロフェッショナル」として**  
“世界一お客様に愛され、選んでいただける  
“不動産会社”を目指します

## お客様

ビルオーナー様、資産家、富裕層

## 本業

不動産再生と活用

## 方針

利を求むるに非ず、信任を求むるにあり  
物件でなく人にフォーカス  
お客様視点を貫き、お困りごとを解決する

## 戦略

都心

オフィス

## 強み

テナント  
斡旋力

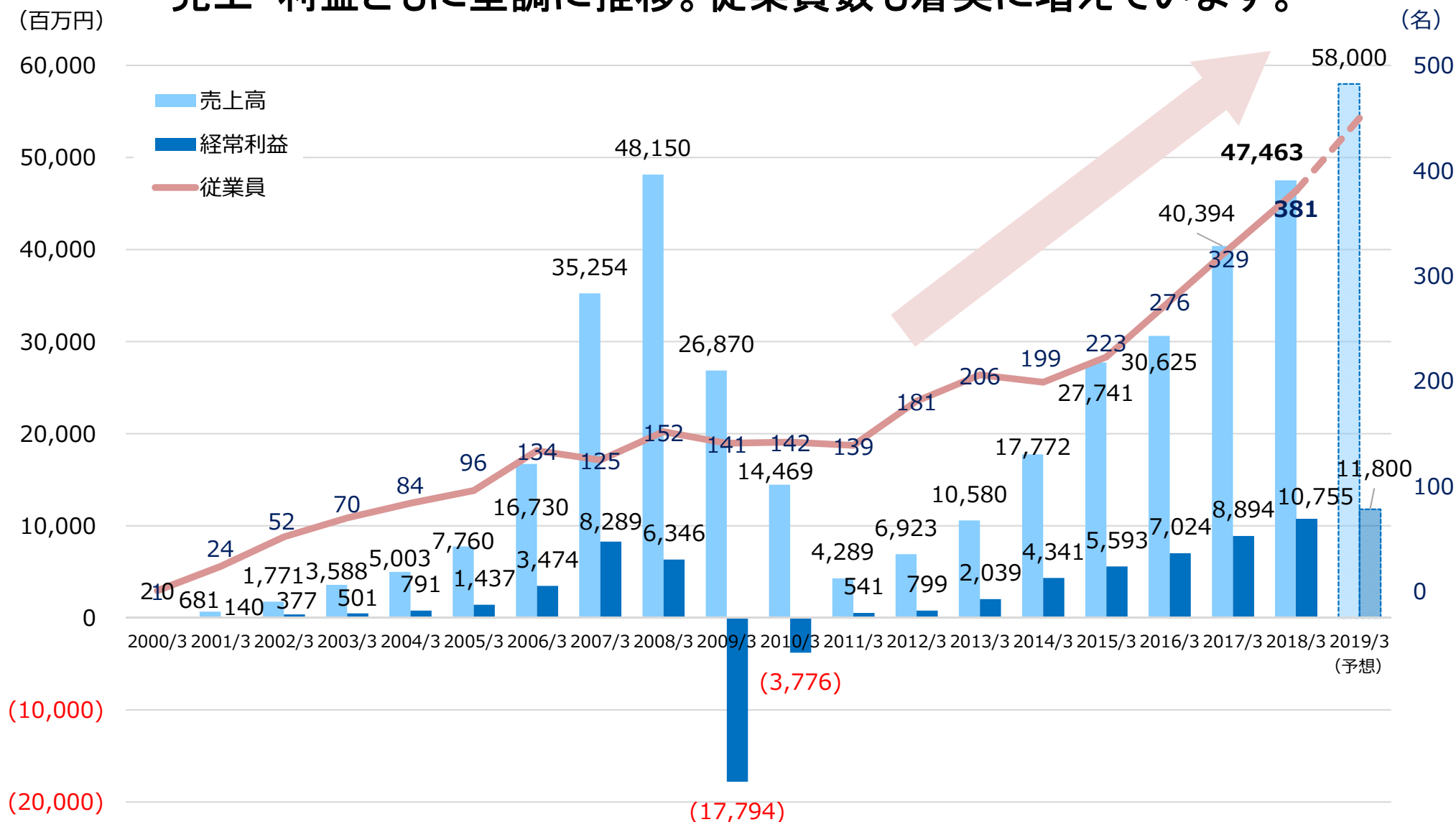
不動産  
再生力

オペレー  
ション力

# 売上高・経常利益・従業員数の推移



売上・利益ともに堅調に推移。従業員数も着実に増えています。



# 今後ともご支援賜りますよう 宜しくお願いいたします。

- ◆ 本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆ 本資料で提供されている情報は、金融商品取引法、宅地建物取引業法等の関係法令、及び東京証券取引所上場規則等に必ずしも則ったものではありません。
- ◆ 本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、このような記述は、将来の業績を保証するものではありません。
- ◆ 本資料の内容に関しては、万全を期しておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではありません。  
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

〈本資料に関するお問い合わせ〉

サンフロンティア不動産株式会社 経営企画部

Phone : 03-5521-1551

URL : <http://www.sunfrt.co.jp/>

Mail : [ir-contact@sunfrt.co.jp](mailto:ir-contact@sunfrt.co.jp)



SUN FRONTIER